

都市・環境委員会委員長報告

都市・環境委員会における、審査の経過ならびに結果について、ご報告申し上げます。

本委員会に付託されました案件は、甲第105号議案 令和7年度岡山市一般会計補正予算（第1号）についてほか22件の議案についてであります。

これらの審査に当たりましては、当局の説明を聴取し、慎重に審査いたしました結果、いずれも全会一致で原案のとおり可決並びに同意すべきものと決定いたしました。

それでは、審査の過程において、特に議論となりました、甲第106号議案 令和7年度岡山市下水道事業会計補正予算（第1号）についてご報告いたします。

これは、令和7年1月28日に埼玉県八潮(やしお)市で発生した下水道管路の破損に起因すると考えられる道路陥没事故の発生を受けて、国土交通省から実施要請のあった「下水道管路の全国特別重点調査」の実施に要する費用を計上するものです。

委員から、国庫補助金の補助率は事業費の2分の1とあるが、事業費約2億2,000万円に対して約5,700万円しか補助されていないのはどういう理由なのか、との質問があり、当局から、補正予算額については追加調査費用を含めているため差額がある、との答弁がありました。

さらに委員から、追加調査とはどういったものなのか、との質問

があり、当局から、カメラ調査の結果、管路の状態が悪い箇所については、追加で打音調査や空洞調査などを行うようになる、との答弁がありました。

これを受け委員から、今回の調査結果を踏まえて必要な費用については、国に求めていただきたいとの要望がありました。

以上、ご報告いたしました。このほかにも審査の過程でさまざまな意見や要望が出されました。

当局におかれましては、本委員会が出された意見や指摘を真摯に受け止め、今後の事務事業の執行に当たられますよう申し添えて、都市・環境委員会の報告を終わらせていただきます。